

ニーズ

課題解決・目標実現のために、必要な情報や技術を提供できる企業を探しております。

実現したい都市のビジョン

本市では2018年以降、第2次総合振興計画に基づき活力あるまちの創世を目指し、北春日部駅周辺のまちづくり事業を展開している。これは、地域住民の生活の拠点となる駅周辺を住宅地へと整備するだけでなく、商・遊・住が近接したコンパクトで魅力的なにぎわいのあるスマートシティを形成するものである。特に以下の4点に重点をおいた整備を行いたい。



1. レジリエンス
2. セキュリティ
3. モビリティ
4. リモートワーク拠点

課題・目標

？【取組分野】①・③・④・⑪

【課題・目標】レジリエンス

- 農地を造成し整備する当該地区は、軟弱地盤で治水面でも湛水深50cmを超える部分も存在するため、発災前に途切れることのないライフライン、交通網、通信網の整備が必要。

？【取組分野】⑨

【課題・目標】セキュリティ

- 駅から近く、都内へ通勤層を取り込みたい当該地区では、日中の不在率が高くなるため、他の地区と比べ防犯や子供の見守り機能の充実が必要。

？【取組分野】①

【課題・目標】モビリティ

- 北春日部駅を最寄駅とし、主要道路沿いの商業施設の周辺を主な活動拠点とする当該地区では活動拠点までを結ぶ地区内モビリティによる交通利便性の確保が必要。

？【取組分野】④

【課題・目標】リモートワーク拠点

- 注目度の高まるテレワーク対応をより効率的にすることが必要である。また、自宅で働く、会社へ出勤する、オープンワークスペースを活用するなど今までにないフレキシブルなライフスタイルを提示することが必要。

解決・実現の方向性

💡 解決・実現の方向性

- 近年、防災意識が高まり発災前から災害時を見越した整備を行い、緊急時でも強靱な対応力のある通信網やインフラがあり、迅速な避難対応のできる住宅地としたい。具体的には、途切れることのない通信網やインフラ管理。スマート街灯やアプリなどによる避難情報や災害情報の発信。スマートハウスやHEMSの技術を使った災害時の対応力に優れた住宅群などである。また、IoT技術を用いた効率的なインフラ管理方法の検討。

💡 解決・実現の方向性

- 不在時の自宅のセキュリティや子供のみの留守番時に自宅の様子がわかるような技術、また不審者や不審車両の識別、人流データの収集等の役割をスマート街灯や各家庭のセンサーやカメラに持たせ、アプリケーションで管理できるようなシステムを構築する。また、状況に応じて効率よく住民への情報提供する方法の検討。

💡 解決・実現の方向性

- 駅周辺や商業施設周辺とそれ以外の地域での利便性の格差を地区内モビリティにて解消。
- 地区内モビリティの活用による、地域内での回遊性及び利便性の向上。

💡 解決・実現の方向性

- クラウド技術やそれに伴うセキュリティ技術の導入と整備した通信網を活用して、テレワークやサテライトオフィスの整備により、働き方の多様性に対応して、生活の質の向上を目指したい。
- 自宅、オープンワークスペース、会社、場所を問わずにリモート接続可能な高速で安定した通信網設備が必要。
- 仕事と育児が両立できるキッズスペース付きワークルールの設置。



## 直近3年以内に具体的に導入したいサービスおよび導入イメージ



サービス名 未定

- 課題に適したサービスおよび導入イメージ等に関するご提案をお待ちしております。



上記のサービスに対して民間企業・学術機関等と特に連携を図りたい事項

- ネット回線等の高速通信技術を支援してくれる事業者
- タウンコミュニケーションアプリの導入による情報共有及び発信方法を支援してくれる事業者
- スマート街灯による防災防犯システムの構築と人流データの収集及びビッグデータの活動を支援してくれる事業者
- 地区内モビリティシステム、配送の効率化のための技術を支援してくれる事業者
- オープンワークスペースで活用できるPCなどの電子機器の導入を支援してくれる事業者
- リモートワーク時の通信保護等のセキュリティシステムについてを支援してくれる事業者

## その他



問合せ先

担当部局名	担当部局 電話番号	担当部局 メールアドレス	該当ホームページ
都市整備部 まちづくり推進課	048-736-1125	machizukuri@city.kasukabe.lg.jp	-